

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：省エネルギー社会を支える材料とデバイス ILAS Seminar :Electric and Electronic Materials			担当者所属 職名・氏名	エネルギー科学研究科 教授 川山 巖		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	8(8)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	総合研究11号館114講義室(本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	物理 / 電気・電子						
<b>[授業の概要・目的]</b>							
我々の日常生活を支える家電製品、自動車、携帯電話、通信機器、PCなどの様々な工業製品には、多くの電子材料やデバイスが活用されている。現在、持続可能社会の実現に向けてこれらの工業製品の省エネルギー化が急務であり、そのための材料やデバイスに関する研究開発が精力的に行われている。本セミナーでは、これらの工業製品の機能や、それらをもたらす物質の性質についての講義を行う。また、受講者の文献調査、レポート作成やプレゼンテーションを通じて、科学技術文章の書き方を学ぶとともに、工業製品を構成する材料・デバイスの性質およびその応用に関する理解を深める。							
<b>[到達目標]</b>							
身の回りの工業製品に含まれる主な電子材料およびその機能について理解するとともに、これらの基本的な動作原理について理解・説明できるようになること。 文献調査、レポート作成やプレゼンテーションの基本的なスキルを学び、課題に対して自主的に取り組む能力を養う。							
<b>[授業計画と内容]</b>							
第1回 オリエンテーション 身の回りの工業製品に使用されている電子材料の概要を説明し、今後の授業の進め方を周知する。							
第2回 科学技術文章の作成技術に関して講義する。							
第3回～第14回 以下のような課題について、1課題あたり3週程度かけて概要を講義し、受講者が担当の課題についてレポートを作成・発表する。 ・半導体 ・超伝導 ・レーザー ・電池							
第15回 最終課題発表							
ILASセミナー：省エネルギー社会を支える材料とデバイス(2)へ続く							

ILASセミナー：省エネルギー社会を支える材料とデバイス(2)

**[履修要件]**

高校時に物理を履修していることが望ましい。

**[成績評価の方法・観点]**

各課題のレポート（4回、各10点）、最終課題発表（60点）により評価する。

**[教科書]**

プリント配布

**[参考書等]**

（参考書）  
授業中に紹介する

**[授業外学修（予習・復習）等]**

レポートおよびプレゼンテーション資料の作成では、進捗状況に応じて課題が与えられる。次回までに与えられた課題(構成の見直しや文献調査等)を行い、資料のブラッシュアップを継続して行う。

**[その他（オフィスアワー等）]**

レポート作成のためのPC環境が利用できることが望ましい。

**[主要授業科目（学部・学科名）]**